



①豊かな自然環境

支笏湖の最大水深は360.1^{メートル}。全国で2番目に深いこの湖は湖水の透明度でも全国トップクラス。深く清らかな湖ではヒメマスが泳ぎ、夏の解禁期間は多くの釣り客でにぎわいます。湖のまわりで温泉や登山なども楽しめる豊かな自然環境が支笏湖の魅力です（写真は支笏湖産のヒメマス）。

昭和24年には、支笏洞爺国立公園として、14番目の国立公園となり、今年はその指定から60年を迎えました。この支笏湖には、これまで先人が守り続けてくれた豊かな手つかずの自然、ひとのちからなど、さまざまな魅力があります。

今月の特集は、支笏湖を愛し、恋している方の想いを、支笏湖の名所とともに紹介します。

「支笏湖に愛(あい)に恋い(らい)」
実際に支笏湖に足を運び、その魅力を体感してみませんか。

私

私たちのまちのシンボルとして親しまれている支笏湖。この湖は、およそ4万年前に起きた激しい火山活動で、軽石や火山灰を多量に噴き出してできた大きなくぼ地に水がたまって誕生。豊かな自然に囲まれ、札幌ドーム1万3千個分の豊富な水量を抱く支笏湖は、私たちにおいしい水や動植物とのふれあいの場を与え続けてくれています。



②手つかずの自然

支笏湖に来て耳を澄ませばいつでも野鳥や虫たちの声が聞こえてきます。登山道や遊歩道に足を踏み入れ、足元を見ると、かわいらしい野草や高山植物を目にすることもできます。支笏湖にはこうした手つかずの自然とふれあえる魅力があります（写真は樽前山に自生するマルバシモツケ）。



③ひとのちから

真冬でも湖面がほとんど凍ることがなく、日本最北の不凍湖と言われる支笏湖。毎年、地元の方の力でその湖水を使った氷濤まつりが開かれます。地元の方のまつりにかける想いは、湖を凍らせないほどです。ひとのちからが支笏湖の魅力です。（写真は平成19年2月の氷濤まつり）

